

2011年・第42回司法制度研究集会に向けて 第2回 プレシンポジウム

日民協は、本年創立50周年を迎えます。2011年の「司法制度研究集会」は、今秋10月1日に、「創立50周年記念 第42回司法制度研究集会」として、『「司法改革」10年・官僚司法制度は今』（仮題）として開催します。

第1回のプレシンポは、「司法官僚 裁判所の権力者たち」（岩波新書）を著された新藤宗幸千葉大教授のお話と高見沢昭治会員の報告を受けて、旭川や名古屋からの参加者による貴重な質疑応答、意見交換がありました。この内容は「法と民主主義」4月号に掲載されますので、是非お読み下さい。

第1回が「司法行政部門」からのアプローチであったのに対して、第2回シンポジウムは、「裁判部門」の具体的裁判例からのアプローチです。

神戸大学名誉教授の浦部法穂先生に、最高裁判決を中心に下級審判例も視野において、お話を願います。また、いくつかの事件弁護団（ピラ配布など）からの報告も考えております。最近「最高裁は変わった」との意見も見られるところですが、判例から見たときに、果たして本当に変わったか、変わったとしても、どう変わったのか、正確な状況認識と評価が必要と考えます。是非多くの方のご参加をお待ちしております。

■第2回プレシンポ■

日時◆2011年 **4月22日** (金) 午後2時～5時

場所◆**伊藤塾 東京校5号館** (法学館ビル)

東京都渋谷区桜丘町17-5

渋谷駅南改札西口徒歩3分

参加費◆500円 (資料代として)

基調講演 **最高裁は変わったか** ——判例分析から

神戸大学名誉教授・弁護士 **浦部法穂** 先生



■浦部法穂（うらべ のりほ）先生プロフィール

1946年愛知県生れ。神戸大学法学部長・副学長、名古屋大学大学院法学研究科教授を経て、現在法学館憲法研究所顧問、神戸大学名誉教授、弁護士。近著『法科大学院ケースブック 憲法』（共編著、日本評論社）、『憲法学教室（全訂第二版）』（日本評論社）、『世界史の中の憲法』（共栄書房）等。法学館憲法研究所HPに「浦部法穂の憲法時評」を連載中。

——ご参加いただける方は、日民協本部事務局までご連絡ください——

◆予 告◆

創立50周年記念第42回司研集会

■2011年10月1日・プラザエフ

「司法改革」10年・官僚司法制度は今

日本民主法律家協会

東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2階

電話 03-5367-5430

FAX 03-5367-5431

メール info@jdla.jp URL <http://www.jdla.jp/>